

伊藤 謙一 議員

ICT施策の推進を

問 今後の人口減少社会と地域の担い手不足という深刻な課題に対して、どのようにICTを活用していくのか。

答 4コミュニティセンターではLINE公式アカウントを活用し、地域の活動に関する情報をリアルタイムで配信し、新たな参加者を増やすとともに次の担い手世代へ地域活動の様子を伝えていく実証事業を実施している。本年度は、利用状況の集計・分析をし、今後の地域づくりにおける情報伝達手段の有用性を検証していきたい。また、地域課題である外国人市民とのコミュニケーションを円滑化するため、産学官民がICTの知識やアイデアを持ち寄り、解決策を導き出すことも必要であると考えている。今後も、ICTの活用については、地域をはじめ、さまざまな皆さまと語る機会を設けていきたい。



旧東海道の松並木

宿泊施設を基点とした観光施策を

問 市内宿泊施設利用者に対し、市の補助を用いて宿泊者誘致を提案するが。

答 直接的な補助は、考えていない。今後、平日に1人でも多くの方に宿泊してもらえよう、遠州三山、旧東海道など、本市固有の歴史・文化施設をより一層磨き上げて、魅力の向上に努めていきたい。

浅田 二郎 議員

浅羽支所の分庁機能をなくすのか

問 合併時、なぜ浅羽支所に分庁機能を持たせたのか。

答 本庁舎へ全ての機能を入れた方が、効率的な行政ができるが、既存施設の執務スペースの有効利用を図る観点から、市民生活に密着した行政サービスを提供する拠点として、支所機能とともに、分庁機能を持たせたと認識している。

問 地域の活性化と既存施設の有効利用という分庁機能が解決したと考えられて、分庁機能を廃止するののか。

答 本庁舎に行政組織を集約することで、市民の移動を最小限にして、迅速に市民サービスを提供できる環境をつくること、市民の利便性という意味では必要と考える。



東同笠海岸への出入口

防潮堤を車両で横断できるように

問 誰もが気軽に海と親しむために、車両で防潮堤を横断できるようにできないか。

答 4力所の進入路は、工車両のため設置したものである。工事終了後も一般車両の通行はできないが、防潮堤の活用や海岸の保全などのため、車両の通行が可能となるよう、県と調整を図っていきたい。